

平成元年度活動報告

近畿六大学春季リーグ戦

◇3月29日住之江球場

神商大	000	000	0	0
甲南大	320	311	×	10

(外) 長浜-加藤
(甲) 井本-石田
(二) 井本 (甲)
※7回コールド

◇4月1日鳴尾浜球場

甲南大	100	210	030	7
神外大	001	000	000	1

(甲) 西-大石・石田
(外) 山根-加藤
(二) 三宅・西 (甲) 長江 (外)

◇4月4日住之江球場

近大	000	000	000	0
甲南大	001	000	20×	3

(近) 中村-西羅
(甲) 井本-石田
〔本〕三宅 (甲)
〔二〕伊藤 (近) 吉田 (甲)

◇4月5日住之江球場

甲南大	000	052	000	7
近大	000	100	000	1

(甲) 西-大石
(近) 中村・西羅-西羅・正司
〔三〕園井 (甲)
〔二〕三宅 (甲)

◇4月27日神戸市民球場

神商大	000	000	000	0
甲南大	000	000	10×	1

(神) 若杉-川崎
(甲) 井本-石田

◇4月11日神戸市民球場

甲南大	010	100	010	00	3
神商大	000	020	001	00	3

(甲) 井本-石田・大石
(商) 若杉-川崎
〔二〕大西
※11回時間切れ引き分け

◇4月16日甲南大グラウンド

和 大	000	000	101	2
甲南大	022	002	01×	7

(和) 依光-中浜
(甲) 高橋-石田
〔三〕石田 (甲)
〔二〕下村 (和) 井本・石田 (甲)

◇4月19日神外大グラウンド

甲南大	110	005	8	15
和 大	201	120	0	6

(甲) 西・井本-石田
(和) 笹・中浜-下村
〔本〕奥野 (甲) 笹 (和)
〔二〕石田・井本2・岸辺2・三宅 (甲) 猪・中尾 (和)

◇4月22日甲南大グラウンド

甲南大	011	010	002	5
大経大	004	100	000	5

(甲) 井本-石田
(経) 長島-久保
〔本〕西・石田 (甲)
〔三〕石田 (甲) 永井・高島・斉藤 (経)
〔二〕三船・三宅 (甲) 久保・吉岡 (経)
※9回時間切れ引き分け

◇4月27日神戸市民球場

大経大	900	000	0	9
甲南大	000	011	0	2

(経) 長島-久保
(甲) 西-大石
〔二〕園井 (甲)
※7回コールド

チーム名	大経大	甲南大	神商大	近畿大	和 大	神外大
大経大		△○	○○	○○	○○	○○
甲南大	△×		△○	○○	○○	○○
神商大	×	×		○○	○○	○○
近畿大	×	×	×		○○	×
和 大	×	×	×	×		○○
神外大	×	×	×	○×	×	

○勝 ×敗 △引分

打撃十傑

- 久保 雅則 (経) 0.541
- 若杉 享 (商) 0.468
- 高島 秀夫 (経) 0.440
- 長江 淳 (外) 0.437
- 品川 典久 (近) 0.429
- 中尾 泰啓 (和) 0.419
- 土井 章弘 (商) 0.406
- 川崎 健司 (商) 0.371
- 石田 邦夫 (甲) 0.370
- 大西 弘純 (甲) 0.368

表彰選手

- 最高殊勲選手 久保 雅則 (経)
- 最優秀投手 井本 利之 (甲)
- 首位打者 久保 雅則 (経)
- 最多勝利投手 井本 利之 (甲)
- 盗 塁 王 土井 章弘 (商)
- 打 点 王 久保 雅則 (経)
- 本 塁 打 賞 関根 清栄 (経)
- 特 別 賞 井本 利之 (甲)

- 防 御 率 1.13
- 打 率 0.541
- 勝 利 数 4勝
- 盗 塁 数 11個
- 打 点 18点
- 本 塁 打 数 4本
- 打 点 3本
- ノーヒット・ノーラン (7回コールドゲーム)

ベストナイン

- (投) 若杉 享 (商)
- (捕) 久保 雅則 (経)
- (一) 品川 典久 (近)
- (二) 大西 弘純 (甲)
- (三) 伊藤 武志 (近)
- (遊) 山根 克之 (外)
- (外) 高島 秀夫 (経)
- 土井 章弘 (商)
- 永井 恭史 (経)

悔しくも連続2位

1988年秋季リーグ戦も1989年春季リーグ戦も悔しくも2位に終わった。

秋は、ともに9勝1敗で互いに譲らず、優勝決定戦へもつれこんだ。

好投手長島の前に4安打完封と、2年連続の優勝の夢は破れた。

また、春の10試合目も、初回に大量9点を奪われ、2位に終わった。

ブロック大会も、準決勝で関西学院に破れ、北海道での全日本大会出場を果たせなかった。

このときの経験が生かされ、のちのリーグ戦4連覇、全日本大会2年連続出場につながった。

平成3年卒業

大西 弘純



